

東京農大北海道オホーツクキャンパス 野鳥研究会通信 その1

日本鳥学会会員のみなさま、こんにちは。

日本鳥学会 2022 年度大会の開催地となりました、北海道オホーツクキャンパスの野鳥研究会です。網走で会員のみなさまにお会いできること、鳥に関するさまざまな研究発表に触れられることをたいへん嬉しく思っています。学会中の網走滞在がより充実したものになるように、これから、農大生目線でみた網走周辺の鳥見スポットやおススメの観光名所、食事処、注意点など、役立つ（かもしれない）情報を連載で発信していきたいと思えます。大会に先立ち旅程を立てる際の参考にしていただければ幸いです。

さて、初回の今回は、気軽に訪れることのできる網走市周辺の鳥見スポット第一弾です。

<網走市周辺鳥見スポット第一弾>

●東京農業大学北海道オホーツクキャンパスフットパス：通称ファイン・トレール

オホーツクキャンパス内に作られた全長約 5km の散策路で、森林やオホーツク海などの自然景観と、農業の生産現場風景との共生と調和に関するプロジェクトの一環として、2002 年に学生と教職員により整備されました。パッチ状に構成されるさまざまなタイプの森林内を巡るほか、一部は農場や家畜の放牧場に隣接します。天気が良ければ知床連山やオホーツク海を臨むことができ、開拓時代の遺産もあります。野鳥のほか、エゾリスやキタキツネなどさまざまな野生動物の生息地でもあり、学生の実習や調査に利用されています。また、動植物の四季の変化を楽しむことのできる、地域住民の憩いの場や散歩道としても親しまれています。

野鳥研究会は定期的にファイン・トレールで観察会を実施しており、学会開催時期には一時的に滞在するものも含めて、以下のような鳥たちを見ることができます。

[ファイン・トレールで会期中に観察できる可能性のある主な種]

トビ・オジロワシ（たまにとまる）・オオワシ（上空通過）・コゲラ・アカゲラ・クマゲラ（採餌）・ミヤマカケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス・キクイタダキ・ハシブトガラ・コガラ・ヒガラ・シジュウカラ・ヒヨドリ・シマエナガ・ゴジュウカラ・キバシリ・ムクドリ・ツグミ・ハクセキレイ・カワラヒワ・マヒワ・ベニマシコ・シメ・カシラダカ・エミュー（飼育・鳥インフル感染防止のため現在非公開）



ファイン・トレールでの冬の自然観察実習⇒

ファイン・トレールには、どなたでも自由に立ち入ることができますので、学会プログラムの空き時間などに森の散策やオホーツクの風景をお楽しみください。また、大会期間中にはプチ・エクスカージョンとして、ファイン・トレールにて朝の探鳥会を行います。私たち野鳥研究会の学生がガイドしますので、興味のある方は大会ホームページのエクスカージョンのページをご確認ください。